

製品名: CaMKII α (11L11) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe07883**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,FC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:10000,FC 1:100-1:200,IP 1:20-1:50
分子量	54kDa

抗原情報

遺伝子名	CAMK2A
別名	Alpha CaMKII; Camk2a; CAMKA; CaMKII; CaMKII α ; PK2CDD; PKCCD;
遺伝子 ID	815.0
SwissProt ID	Q9UQM7
免疫原	ヒト CaMKII アルファの合成ペプチド

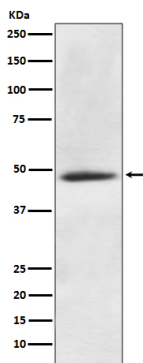
背景

CaM キナーゼ II (CAMK2) は、中枢神経系における主要なキナーゼであり、長期増強および神経伝達物質の放出に機能すると考えられています。興奮性シナプスにおける NMDAR シグナル伝達複合体のメンバーであり、AMPA の NMDAR 依存性増強およびシナプス可塑性を制御すると考えられています。Ca (2+) /カルモジュリン結合および自己リン酸化後に自律的に機能するカルシウム/カルモジュリン依存性タンパク質キナーゼは、シナプス可塑性、神経伝達物質の放出、および長期増強に関与しています。興奮性シナプスにおける NMDAR シグナル伝達複合体のメンバーであり、AMPA の NMDAR 依存性増強を制御し、それによって興奮性シナプス伝達を制御します (類似性による)。樹状突起棘の発達を制御します (PubMed:28130356)。また、発達中のニューロンの移動も制御します (PubMed:29100089)。転写因子 FOXO3 をリン酸化して転写活性を活性化する (PubMed:23805378)。DAGLA 活性の調節を介して、2-アラキドノイルグリセロール (2-AG) を介したシナプスシグナル伝達の負の調節因子として作用する (類似性による)。

研究分野

神経科学

画像データ



SH-SY5Y 細胞溶解物中の CaMKII α 発現のウェスタン ブロット解析。